

競技注意事項

1. 規則について

- (1) 本競技会は2010年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び、本大会要項を適用しますが、児童であることを考慮して、教育的配慮のもとに行います。

2. プログラムについて

- (1) 当日競技者受付にて、ナンバーカードとともにプログラムを配布します。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年等)があった場合には、9時15分(遅くとも出場する競技の60分前)までに大会本部に申し出てください。記録確定以後の訂正(賞状及び記録証の訂正を含む)には、一切応じません。
尚、プログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。
- (3) プログラムは、残部がある場合に限り販売いたします。

3. 招集について

- (1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート後方で行います。
- (2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のとおりです。

	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	100m予選・80mH予選・ 4×100mR予選	30分前	20分前
	100m決勝・80mH決勝・ 4×100mR決勝	20分前	10分前
	60mH決勝	30分前	20分前
	800m決勝(1組～4組) (5組～)	30分前 20分前	20分前 0分
	60m決勝(1組～8組) (9組～18組) (19組～)	30分前 20分前 0分	20分前 0分 10分後
	フィールド	決 勝	40分前

- (3) 招集は本人のみで、代理人による招集は認めません。但し、同時に2種目出場する者は、事前にその旨を競技者係及び審判員に申し出て、競技に参加してください。
- (4) リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻60分前までにオーダー用紙を競技者係へ提出してください。(オーダー用紙は競技者係に用意してあります。)
- (5) 招集に遅れた者は失格になることがありますので、時刻を厳守してください。
- (6) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツを着用して集合してください。

4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者で用意し、当日受付にて配布します。ナンバーカードは、競技を行う際に着用するランニングまたはTシャツ等の胸と背に、四隅を安全ピンで確実にとめてください。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に写真判定用の腰ナンバーカードを貸与しますので、右腰やや後ろに付けてください。リレー競技の場合は第4走者のみ使用します。なお、腰ナンバーカードは、競技終了の都度、フィニッシュライン付近で返却してください。

5. 競技について

- (1)トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とします。
- (2)トラック競技の決勝のレーン順は本部において公正に抽選し、発表は掲示によります。
- (3)スパイクシューズを使用することができますが、スパイクのピンは全天候性走路用9mm以下を使用してください。また、素足での競技出場は、火傷の危険があるため禁止します。
- (4)60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでも構いません。スターティングブロックの使用は認めます(予選、決勝を問わない)が、セッティングは速やかに行ってください。

* スタートに関するルールは全国大会に準じます。

同一人が2回不正出発した場合は失格とする。
ただし競技には参加させ記録は参考記録とする。

- (5)800m以外のトラック競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らないでください。
- (6)800mのスタートは、レーンを使用しません。
- (7)ハードル競技は以下の規格により行います。

種 目	スタート～第1ハードル	高 さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
3・4年 60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
5・6年 80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

- (8)リレーにおける第1、第2、第3走者はテークオーバーゾーン内でパトンパス完了後も自分のレーンにとどまってください。テークオーバーゾーン手前からの助走マークの使用は認めます。マークは各チームで用意し、レース後前走者が必ず取り外してください。
- (9)3・4年60m、3・4年60mH、800mは決勝のみとし、タイムレースで1位～8位を決定します。
5年100m、6年100m、5・6年4×100mRは、予選の上位記録8名(8チーム)、5・6年80mHは予選の上位記録5名を決勝進出者としてします。同記録がありレーンが不足するときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して決勝進出者を決定します。それでも決まらないときは抽選を行います。
- (10)走高跳の飛び方は「はさみ跳び」とします。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技となります。第1位決定のバーの上げ下げは2cmとします。

走高跳のバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ
女子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ

- (11)3・4年走幅跳、3・4年ソフトボール投は3回の試技で順位を決定します。
- (12)5・6年走幅跳、5・6年ソフトボール投は3回の試技を行い、上位8名が残り3回の試技を行います。
この場合、走幅跳はそのままピットを変えないで行います。
- (13)ソフトボール投は公認1号球を使用します。競技場所はやり投ピットで行い、投てき角度はやり投と同じとします。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもかまいません。
- (14)ソフトボール投は、各競技者とも**連続3回の試技**を行います。また、5・6年ソフトボール投の上位8名による4回目以降の試技についても3回連続で行います。
- (15)競技会で使用する(練習も含む)用器具は主催者が用意したものを使用します。

6. 表彰について

各種目第1位～第8位(5・6年80mHは第5位)に賞状を授与します。第1位～第3位は本部前で表彰しますので、競技終了後直ちに正面玄関ホールに集合してください。第4位～第8位は結果発表30分後に本部裏廊下まで賞状を取りに来てください。

7. 競技場使用規定(競技場使用上の注意)

- (1) 競技場は、大切にきれいに使用してください。
- (2) グラウンド以外(スタンド・ダッグアウト・本部・アスファルト舗装面等)でのスパイクシューズの使用は禁止します。
- (3) ゴミは必ず自宅まで持ち帰ってください。(決して競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てていかないこと。)
- (4) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管してください。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意してください。

8. 全国小学生陸上競技交流大会東京都代表について

次の種目の優勝者、優勝チームを、平成22年8月27日(金)～28日(土)に東京・国立霞ヶ丘競技場で開催される「第26回全国小学生陸上競技交流大会」に派遣します。

【男女とも共通】5年100m 6年100m 5・6年80mH 5・6年4×100mR
5・6年走高跳 5・6年走幅跳 5・6年ソフトボール投

* リレーと他の種目に優勝した場合は、リレーを優先します。

(全国大会のリレーは5名で申し込みます。)

該当者は競技終了後直ちに本部の普及部において全国大会参加の手続きをします。

9. その他

- (1) 競技中の事故については、主催者が応急処置を行いますが、以後の責任は負いません。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理してください。
- (3) 記録証を1枚300円で発行します。希望者は大会本部(庶務係)に申し出てください。
- (4) 更衣室は使用できません。
- (5) 競技運営システムに支障をきたすことがあるため、競技場及びスタンドでのゲーム機の使用は禁止します。
- (6) その他不明な点は大会総務に問い合わせてください。

練習について

最近、競技会において練習中の事故が多発しています。事故が起きないように十分に注意してください。

- (1) 必ず指導者、あるいは保護者がついて行う。
- (2) 場内司令、練習場係の指示に従う。
- (3) 逆送しない。
- (4) 走り終わって直ぐに左右に曲がらない。後方を確認してから走路外に出る。
- (5) 走路上で立ち止まらない。
- (6) 走路を横切るときは左右を確認する。
- (7) 大勢の児童が参加するのでお互いに譲り合って練習する。
- (8) フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示に従って行う。

練習場所と時間帯

トラック全周	8:30～ 9:15	
バックストレート	9:15～13:10	
		リレー練習 女子 5・6レーン
		男子 7・8レーン
	13:45～15:10	
		リレー練習 女子 5・6レーン
		男子 7・8レーン

ハードル練習

ホームストレート	9:00～ 9:30
ホームストレート	13:45～13:55